

# くんねっぷ

2020

1

NO.713



特集

子年・今年の主役は私たち  
訓子府の未来を担う子どもたち



# わが家のアイドル

遠藤 <sup>じゅんぺい</sup> 淳平ちゃん 実郷 2歳4か月  
お母さん 希美さんのお話

夫の名前の画数が良かったので、夫の名前と私の旧姓から一文字ずつ取り、夫婦で考えて「淳平」と名付けました。

普段はブロックで遊んだり、室内でも屋外でも三輪車に乗ったり、体を動かして遊ぶことが好きです。

最近はいろいろなことに興味が出てきて、私がお家事をしていると関心があり、様子を見に来るので、一緒に卵の殻むきや食器洗いのすすぎなどを行っています。

これからも健康で元気に育ててもらえるとうれしいですね。



三つ巴の誘致合戦の末、訓子府移転設置となり、北海道農業発展のため、現在も訓子府でさまざまな研究開発が行われている北見農業試験場



昭和25年の「開村30周年記念式典」挙行後、村は新庁舎を建設するなど町制施行に備え、翌26年11月1日に「訓子府町」が誕生。ここから昭和52年の開基80年まで、上水道や公営住宅整備など生活基盤が整備され、農協デパート完成（昭和32年）商工会創立（昭和35年）など、農業を中心に各種産業が少しずつ発展してきました。

そうした時代の動きに弾みをつけたのが、北見市にあった道立農業試験場北見支場（現地方独立行政法人北海道立総合研究機構北見農業試験場）の訓子府移転。北見市、美幌町との誘致合戦を繰り広げ、昭和33年に訓子府に移転全面完成、以来「農業の町・訓子府」の大きな支えとなっています。

くんねっぷ

— シリーズ —

再発見

第177回

「訓子府町開町100周年⑤」  
「訓子府町」として着実に発展、北見農試の誘致も成功

## 今月の交通安全テーマ▶「しない させない 飲酒運転」飲酒運転を撲滅しましょう



### 訓子府町民憲章

1. 自然の恵みに感謝し、美しい町をつくります。
1. 元気に働き、豊かな町をつくります。
1. きまりを守り、明るい町をつくります。
1. たがいに助け合い、楽しい町をつくります。
1. 未来に希望をいだき、文化の町をつくります。

【昭和45年8月1日制定】

### あしがき

- ▶ 明けましておめでとうございます。令和2年、新年を迎えました。今年も広報「くんねっぷ」の取材などで皆さんにお世話になります。本年もよろしく願います。
- ▶ 寒さが厳しい季節が続きます。体調管理には十分気をつけましょう。